



平成 30 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 ベルーナ
代表者名 代表取締役社長 安野 清
(コード番号 9997 東証第 1 部)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 松田 智博
(TEL. 048-771-7753)

上場廃止となった子会社(さが美グループホールディングス株式会社)
に関する決算開示について

平成 30 年 9 月 26 日に上場廃止となりました、さが美グループホールディングス株式会社に関する平成 31 年 2 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)(平成 30 年 3 月 1 日から平成 30 年 8 月 31 日まで)について、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

会社名 さが美グループホールディングス株式会社 URL <https://sagami-ghd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西脇 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員(業務本部長) (氏名) 井上 岳治 (TEL) 0463-52-0860

四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	7,987	2.1	65	—	14	—	1	—
30年2月期第2四半期	7,826	△17.6	△36	—	△35	—	△33	—

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 △5百万円(—%) 30年2月期第2四半期 △22百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	0.05	—
30年2月期第2四半期	△0.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	9,673	5,929	61.3
30年2月期	9,863	5,939	60.2

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 5,929百万円 30年2月期 5,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年2月期	—	0.00	—	—	—

(注) 平成30年9月26日付で当社の普通株式が上場廃止となったことを踏まえ、配当予想及び業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年2月期2Q	40,834,607株	30年2月期	40,834,607株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年2月期2Q	1,272,923株	30年2月期	1,222,600株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年2月期2Q	39,589,694株	30年2月期2Q	39,626,625株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東京オリンピック及びインバウンド需要向け建設投資など、好調な企業収益を背景に設備投資は高水準で推移しています。また、個人消費の緩やかな回復が続き国内景気を下支えています。しかし、一方では海外リスクとして、米中貿易摩擦や中国及び新興国の景気悪化が懸念されております。また、連日の猛暑や相次ぐ自然災害が消費関連業種の企業活動へも一部影響を及ぼしました。このような環境の中、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は、既設店前年比は103.0%計画比100.8%、また売上高の先行指標である販売契約高は、既設店前年比101.8%計画比101.1%と順調に推移しております。売上高が計画以上の推移となっているのは、前期末に膨らんだ受注残高の納品が進んだためであります。

販売契約高が好調に推移したのは、新しい企画である「感謝の会」と店舗リニューアルにともなうセールがお客様に大きな支持をいただいたことによります。

店舗面におきましては、3店舗の出店と1店舗を閉鎖したことにより、当第2四半期連結会計期間末における店舗は162店舗となり、内訳は㈱さが美120店舗、㈱東京ますいわ屋42店舗となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益79億87百万円（前期比2.1%増）となり、利益面においては、営業利益65百万円（前年同期は36百万円の営業損失）、経常利益14百万円（前年同期は35百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円（前年同期は33百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、96億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億90百万円の減少となりました。これは主として、借入金の返済等による現金及び預金の減少によるものであります。

負債については、37億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億80百万円減少しました。これは主として、支払による未払金の減少及び長期借入金の返済等によるものであります。

純資産については、59億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少しました。これは主として、株価の変動により保有する株式に対する評価として、その他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,211,987	806,564
受取手形及び売掛金	801,354	730,093
商品	1,509,205	1,570,422
貯蔵品	7,667	6,362
1年内回収予定の差入保証金	—	5,977
その他	1,029,248	1,218,991
貸倒引当金	△5,228	△6,067
流動資産合計	4,554,236	4,332,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	472,703	503,817
土地	2,831,987	2,831,987
その他（純額）	110,849	126,630
有形固定資産合計	3,415,540	3,462,434
無形固定資産	22,035	46,451
投資その他の資産		
差入保証金	1,575,689	1,569,468
その他	423,882	390,134
貸倒引当金	△127,497	△127,508
投資その他の資産合計	1,872,073	1,832,093
固定資産合計	5,309,649	5,340,979
資産合計	9,863,886	9,673,325

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	854,626	845,324
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	191,985	36,016
前受金	1,133,617	1,156,488
賞与引当金	20,100	21,300
資産除去債務	3,208	—
その他	665,457	687,482
流動負債合計	2,968,996	2,846,611
固定負債		
長期借入金	125,000	75,000
退職給付に係る負債	222,464	209,765
資産除去債務	388,866	396,519
その他	218,988	216,084
固定負債合計	955,318	897,369
負債合計	3,924,315	3,743,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,258,212	5,258,212
利益剰余金	1,503,023	1,504,844
自己株式	△360,069	△364,724
株主資本合計	6,401,166	6,398,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,997	78,576
土地再評価差額金	△540,305	△540,305
退職給付に係る調整累計額	△6,287	△7,259
その他の包括利益累計額合計	△461,594	△468,987
純資産合計	5,939,571	5,929,344
負債純資産合計	9,863,886	9,673,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	7,766,181	7,911,196
売上原価	3,303,951	3,375,097
売上総利益	4,462,230	4,536,098
営業収入	60,076	76,068
営業総利益	4,522,306	4,612,167
販売費及び一般管理費	4,558,876	4,546,615
営業利益又は営業損失(△)	△36,569	65,551
営業外収益		
受取利息	23	11
受取配当金	2,545	2,845
仕入割引	12,220	14,867
受取補償金	6,750	300
その他	5,216	6,396
営業外収益合計	26,756	24,421
営業外費用		
支払利息	7,635	957
支払手数料	17,414	67,268
その他	333	7,019
営業外費用合計	25,382	75,245
経常利益又は経常損失(△)	△35,196	14,727
特別利益		
固定資産売却益	5	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
固定資産除却損	27	2,340
減損損失	3,326	210
特別損失合計	3,354	2,550
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△38,545	12,176
法人税、住民税及び事業税	55,837	8,404
法人税等調整額	△60,757	1,950
法人税等合計	△4,920	10,355
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,625	1,820
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△33,625	1,820

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,625	1,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,798	△6,420
退職給付に係る調整額	7,198	△972
その他の包括利益合計	10,996	△7,393
四半期包括利益	△22,628	△5,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,628	△5,572
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	小売事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	7,804,277	21,980	7,826,258	—	7,826,258
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	8,544	8,544	△8,544	—
計	7,804,277	30,525	7,834,803	△8,544	7,826,258
セグメント利益又は損失(△)	△51,066	14,497	△36,569	—	△36,569

(注) 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

2. 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失に計上した額は一致しており、記載すべき事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において「小売事業」セグメントにおいて3,326千円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	小売事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	7,948,759	38,505	7,987,264	—	7,987,264
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	34,995	34,995	△34,995	—
計	7,984,759	73,500	8,022,259	△34,995	7,987,264
セグメント利益	31,428	34,123	65,551	—	65,551

(注) 営業収益は、売上高及び営業収入の合計金額であります。

2. 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失に計上した額は一致しており、

記載すべき事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において「小売事業」セグメントにおいて210千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

(株式会社ベルーナによる当社完全子会社化について)

当社は、平成30年8月28日開催の臨時株主総会において、株式併合、単元株式の定め廃止及び定款の一部変更について付議した議案について原案どおり承認された結果、所定の手続きを経て、平成30年9月26日をもって株式会社東京証券取引市場第一部において上場廃止となりました。

また、株式会社ベルーナ（以下「ベルーナ」という。）の完全子会社化に向け、ベルーナ以外の株主の皆様が所有する1株未満となった当社株式の端数については、ベルーナに売却しその売却により得られた代金を、端数が生じた株主の皆様に対して交付いたします。これにより、当社はベルーナの完全子会社となる予定です。

当社は、昭和60年10月上場以来、株主の皆様をはじめ、関係各位の皆様には、長年にわたり当社の経営にご理解と温かいご支援を賜りましたことを心より深く感謝申し上げます。

今後も、より一層の企業価値の向上に努めてまいりますので、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。